

「令和5年度いわて新農業人チャレンジファーム第23回研修を開催しました！」

第23回の研修は、令和5年12月15日(金)、16日(土)に盛岡市勤労福祉会館で行いました。

今回は、外部講師をお招きして、農業簿記についての講義と研修の振り返り③を行いました。

農業簿記については、一般社団法人岩手県農業会議の菅原聡主任主査を講師にお招きして、講義をいただきました。

今回の講義では、複式簿記について学びました。単式簿記との違いや、財産と損益の2種類を計算し、1つの取引を原因と結果の2面から捉えて記帳すること、貸借対照表と損益計算書についての用語解説及び記入方法等の一連の流れについて、例を交えてご説明いただきました。

最後に、就農するにあたり、実際に複式簿記を記帳している農家さんを普及センター等

から紹介していただき、教えていただくことが理解する近道。まず、1年間トライしていただきたい、とのアドバイスをいただきました。

後半には、今までの研修内容の定着度の確認も踏まえ、研修指導員と受講生の一問一答形式で研修の振り返りを行いました。

日本農業検定の問題を参考に、4月からの研修で触れた内容について復習しました。回答の後には研修指導員からの解説もあり、思い出した方、しっかりと復習できている方、様々であり、受講生は楽しみながら振り返りが出来ていたようです。

次回の研修は、12月22日(金)、23日(土)に同施設で、第25回の研修報告書発表会の予行演習を予定しております。



講義：「農業簿記」の様子



講師：一般社団法人岩手県農業会議
菅原聡 主任主査



熱心に講義を聞く受講生



講義：「研修の振り返り③」の様子